

能 さいたま能

関連イベント

鉄道開業 150 年記念

さいたま能～鉄道博物館ナイトミュージアムで楽しむ能の世界～

令和4年12月17日(土) 開場17:45 開演18:30 鉄道博物館 本館2階 ステンドグラス前
 鉄道博物館の展示室内で、能楽師の大島輝久氏による能の実演をご覧ください。
 本館の車両ステーションの展示も一緒にご見学いただけます。



料金 無料

定員 50名

申し込み 12月1日(木)～12月8日(木)に
 下記専用サイトにて受付
<https://formok.com/f/jzwj9c7j>
 ※応募多数の場合、抽選。
 結果は全員にお知らせします。



お申し込みは
 はこちら

さいたま市文化センター 能舞台見学会

令和5年1月20日(金) 17:00～(最終受付 18:30) さいたま市文化センター 小ホール
 さいたま市文化センターの能舞台にお上がりいただき、舞台のつくりや、能の歴史についての解説ツアーを行います。



料金 無料

持ち物 白足袋または白靴下
 ※お持ちでない場合貸し出しもあります。受付でお申し出ください。

申し込み 事前申し込み不要。
 当日受付順にご案内します。

【解説・能シテ】 大島輝久



能楽シテ方喜多流職分。重要無形文化財総合指定保持者。能楽喜多流大島家五代目。
 1976年広島県福山市生まれ。
 3歳のとき仕舞「狸々」にて初舞台。これまでに「狸々乱」「道成寺」「石橋」「翁」「望月」などの大曲を抜く。
 アメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国など海外公演にも多数参加。近年では能を全編英語で演じる英語能。能の台詞を手話で表現する手話能。最先端の映像技術を使用したVR能・3D能といった画期的な公演への出演、及び企画制作を担当するなど、能の新たな可能性を探る活動も積極的に行っている。

【イラスト・漫画】 藤井龍二

岐阜県出身。さいたま市在住。日本漫画家協会会員・キャラクターアート会員・似顔絵集団・北沢楽天顕彰会理事。
 主な著書：「まんがで読む星のギリシア神話」「星座物語」「星の王子さま」「ロングセラー商品誕生物語シリーズ」ほか多数。

さいたま市文化センター

〒336-0024 さいたま市南区根岸 1-7-1
 Tel 048-866-3171 Fax 048-837-2572
 ※電話・Fax のおかけ間違いのないよう十分ご注意ください。

【電車でお越しの方】
 JR 南浦和駅西口下車徒歩 7 分

【駐車場について】
 137 台(有料)最初の1時間無料。
 1時間超から1時間30分以内は220円。以降30分毎に110円を加算します。
 ※駐車場に限りがございますので、公共の交通機関をご利用ください。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記事項へのご協力・ご了承をお願いいたします

- ・ご来場の際には、マスクの着用・アルコールによる手指の消毒・咳エチケット・ソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いいたします。
- ・公演当日、ホール入り口にてお客様の検温を実施いたします。公演当日および公演前日から2週間前までの間に、37.5℃以上の発熱があった方など体調のすぐれない場合はご来場をご遠慮ください。
- ・スタッフは、お客様との距離を保って接客させていただきます。
- ・ご来場にあたって、お客様のお名前・連絡先をチケットの半券(右側部分)に事前にご記入をお願いしております。いただいた情報は保健所や行政機関の指示により、関係機関に報告させていただく場合がございます。また、個人情報はその他の目的には使用せず開催日から一定期間保管後、適切な手段で廃棄します。
- ・やむを得ず公演を中止や延期とする場合があります。なお、公演が中止や延期になった場合のチケット代金は、返金のご案内をいたします。

能 さいたま能

令和5年1月21日(土)

開場13時30分/開演14時00分 上演時間2時間30分(休憩20分含む)
 さいたま市文化センター小ホール

【解説】

大島 輝久

能【巴】

シテ 大島 輝久
 ワキ 宝生 欣哉

狂言【ぬけから】

シテ・太郎冠者 奥津健太郎
 アド・主 野口 隆行
 後見 野村 信朗

ワキ連 大日方 寛
 宝生 尚哉

アイ狂言 奥津健一郎

笛 杉 信太郎

小鼓 田邊 恭資

大鼓 大倉慶乃助

後見 佐々木多門

地謡 狩野 祐一

谷 塩津 圭介

友 友矩

衣 衣恵

金子 敬一郎

長島 茂

狩野 了一

【巴】、「ぬけから」のあらすじ漫画はつぎのページをチェック!!

全席指定 ※未就学児入場不可。小・中学生は無料。

【一般】 3,000 円
 [SaCLa 友の会] 2,500 円
 [大学生以下] 2,500 円

文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業
 (コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)
 『公文協アートキャラバン事業劇場へ行こう2』参加事業
 主催:公益財団法人さいたま市文化振興事業団
 公益社団法人全国公立文化施設協会
 共催:さいたま市 協力:大島能楽堂、国立能楽堂
 お問い合わせ:SaCLa インフォメーションセンター(9:00～17:00)
 ☎048-866-4600

◇友の会先行販売 令和4年11月4日(金) 10:00～

◇一般販売 令和4年11月5日(土) 10:00～

SaCLa インフォメーションセンター ☎048-866-4600
 ※先行予約期間中及び発売日初日については受付順に座席を配置するため、座席指定不可。
 ※先行予約期間中及び発売日初日は SaCLa インフォメーションセンターにて電話予約のみ。
 令和4年11月6日(日) AM9:00～発売
 Web 販売 <https://saitama-culture.jp>
 さいたま市文化センター 048-866-3171 西部文化センター 048-625-3851
 RaiBoC Hall(さいたま市市民会館おみや)048-641-6131 宮原コミュニティセンター 048-653-8558
 さいたま市市民会館いわつき 048-756-5151 片柳コミュニティセンター 048-686-8666
 プラザイースト 048-875-9933 美園コミュニティセンター 048-764-8810
 プラザウエスト 048-858-9080

能

巴 ともえ

珠の僧が東津が承てあつたのは巴神前の亡霊だつた。巴は木曾義仲への叶わなかつた思いを語りだす。



あるとき、旅の僧が琵琶湖のほとり粟津が原を通りがかる。



神社で一人の女が泣いているのを見かけ、神前で涙するのを不審に思い、声をかける。



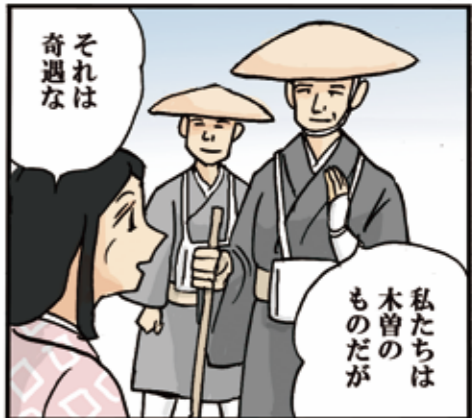
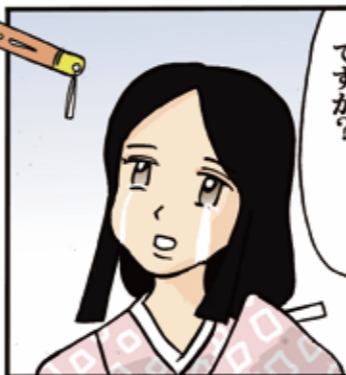
どうされた?



神前で泣くのはおかしいでしょうか?

いや

お坊さまはどちらの国の方ですか?



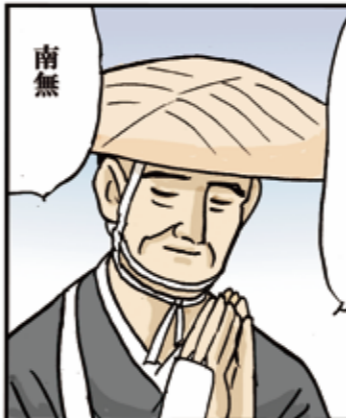
私たちは木曾のものが

それは奇遇な

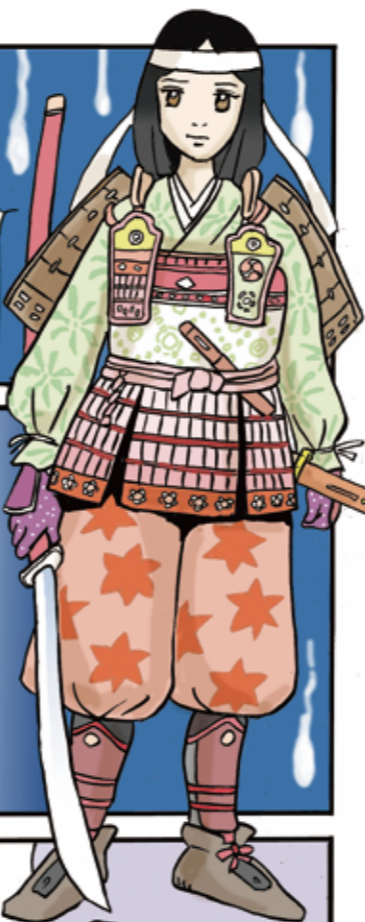


この社は木曾義仲さまをお祀りしております

それは不思議な縁、ありがたきかな



南無



私は巴、主君木曾義仲さまと最後まで一緒に居させてもらえなかつた、その怨みが...



その執念が、いまも残っておいでか?

はい、私の話を聞いてもらえますか?



時は睦月、木曾義仲は重傷を負い、さらに馬が雪原に足を取られ動けなくなる。巴は長刀で応戦していたが、義仲は自害を決意し、巴にこう告げる。



巴、おまえは女だ、生き延びよ

巴は小袖に着替えて、義仲のお守りと小刀を懐に忍ばせ、木曾に落ち延びた。



うしろめたさの執念を、引ってください



おや? 女子が消えた



お坊さま、あれは巴御前の霊です

ねんころに引ってください



粟津が原に世を去つたお方の跡を、引おう



露濡れの草を枕に敷き、旅寝して...

落花は世のむなしさを知つて散る。流水には心無く、おのずから澄む。澄み切つた心をもって...

狂言
ぬけから
遠いを頼まれた太郎冠者は酒を飲んで寝てしまふが、目覚めると驚きの姿に。



ある日、太郎冠者は主人から遣いを頼まれる。



酒好きなたる冠者は、出かける前に、主人の振る舞い酒を飲みすぎて寝込んでしまふ。



困つたやつじゃ、鬼の面を付けてやる



目覚めた太郎冠者。



のどが、渴いた

清水で水を飲もうとした。



鬼だ!?

太郎冠者は清水に映つた鬼の顔に驚く。さて、このあとどうなりますか...